



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 383

Juni 2023

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

ドイツ総領事エバーツご夫妻送別会の報告

会員 柘田 節子

神戸日独協会主催の「ドイツ総領事エバーツご夫妻の送別会」が6月16日に神戸リガッタ・アンド・アスレティック・倶楽部(KR&AC)のレストランで開催されました。

本来であればKR&ACでの協会の新事務室開室にお招きをして、併せて送別の会とする予定でした。しかし新事務室の改装工事が遅れて開室の目途がつかないために、急遽個別に「送別会」の開催となりました。

開会の挨拶にて柘田会長から、エバーツ総領事のご在任期間が新型コロナ感染の最盛期と重なっていたために、協会の感染予防上の活動自粛もあり、当初は協会行事にお招きできなかったこと。しかし諸制限の解除と社会活動の復活と共に、日独修好160周年記念事業での記念講演を始めにドイツ時局特別講演会、協会の伝統行事であるドイツビアフェストやクリスマス祝賀会にご参加くださったことなどが紹介されました。この三年間未曾有のコロナ禍であったのにもかかわらず、総領事ご夫妻には協会諸行事にご参加をいただき、会員と親しく交流をしていただいたことへの心よりの感謝が述べられました。感謝のしるしとして協会より総領事様に「神戸日独協会名誉会員証」と記念品が贈呈されました。

引き続き総領事様より「関西での思い出」をお話しいただきました。コロナ禍での就任となり活動の困難さが懸念されたが、諸制限の解除後は神戸での諸行事を始めとして楽しく活動ができた。日本への赴任を楽しみにしていたので管轄の西日本の多くの地を訪問することが出来た。総領事様は京都で居合抜きを習い、手作りがご趣味の奥様も焼物の漆塗りや日本の芸術・文化・料理に対する興味を堪能した事などをご披露していただきました。総領事様は6月30日にて定年退職となるが、今後も私的に来日したいと述べられました。

パーティーでは定評あるKR&ACレストランのお料理を堪能しながら総領事ご夫妻を囲み大いに歓談をさせていただき、極めて gemütlich な送別の会でした。最後に記念集合写真を撮り、名残は尽きませんでした。閉会となりました。

パーティー半ばでヴィオラの演奏をして下さった会員家族の神原玲奈さん、通訳をして下さった

総領事館の成光恵さん、ご協力ありがとうございました。

エバーツ総領事ご夫妻には離任を前にした極めてご多忙の時に、お時間を割いていただき、神戸日独協会会員と楽しい一夜を過ごさせていただいたことに、心よりのお礼を申し上げます。ご夫妻のご帰国後のご多幸とご健康をお祈りすると共に、神戸でのご再会を楽しみにしています。

ドイツ語講座・ドイツ文化教室2023年度第Ⅱ期開講

7月3日(月)よりドイツ語講座・ドイツ文化教室の2023年度第Ⅱ期が開講します。

コロナ禍での様々な制限が解除され、国際交流も従前のように復活をしています。ドイツ語圏への旅行・留学を計画されている方、ドイツ語圏からの来訪者と交流しようとされている方、自宅待機で身に付いた読書の楽しみをさらに充実させようとされている方、この夏は神戸日独協会でもドイツ語学習を、ドイツ語のブラッシュアップをしませんか。

ドイツ語講座の各種クラスは、ヨーロッパで通用する「EU言語標準」としてのドイツ語の習得を目的としています。「EU言語標準」としてのドイツ語の教授経験が豊富な講師陣が講座を通じて「今のドイツ」へとお誘いします。

「ドイツをはじめとするヨーロッパで今何が起きているのか」、「今の日本をドイツはどのように見ているのか」を知りたい方、ドイツ文学の名作をじっくりと読んでみたい方には「講読クラス」がお勧めです。

ドイツ語講座の多くのクラスは前期からの継続クラスですが、途中からの受講は可能です。各クラスの内容については、同封の案内チラシをご覧ください。

今年も暑い夏が予想されています。駅からも近く涼しい教室で今年の夏は「ドイツ体験」をしてみましよう。

重要なお知らせ

協会では現在新事務室(兼教室)の移転準備中です。移転先は国際会館南東の磯上公園内の神戸レガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内です(国際会館から徒歩7分)。移転先の改装工事が完了しましたら、新事務室(兼教室)での授業となります。7月初・中旬を予定しています。それまでは現事務所にて授業を行います。

事務室移転について

事務室移転に関する情報については、7ページの[事務室移転情報](#)をご覧ください。

今後の移転日程などの情報については、決まり次第協会ホームページにて発表します。

引越・移転先など移転に関するお問合せはすべて協会事務室へお願いします。

3年半ぶりのドイツ

理事 押尾 愛子

6月1日～13日、3年半ぶりにドイツに行って来ました。前回ドイツ(Berlin・Hamburg)に行ったのが、2020年12月で、2021年4月に予定していたドイツ行き(München・Stuttgart)はコロナでキャンセルになったため、丁度3年半ぶりになります。

私も夫も大のオペラファンで、ドイツに行くのは専らオペラを見るため、そのついでに観光もします。今回は Kassel で Ring を見るのが主な目的でした。

Kassel(人口約20万人)は Frankfurt(人口約68万人)と Hannover(人口約52万人)の間にあり、Grimm 兄弟が長く住んでいてグリム博物館(Grimm Welt)があることで知られています。"ロマンチック街道"と並んで、Bremen から Grimm 兄弟の生まれ故郷 Hanau への道は"メルヘン街道"と呼ばれて人気があり、Kassel はメルヘン街道の中では Bremen に次いで大きな市です。Ring と言うのは4部作から成るオペラ「ニーベルングの指環」のことで、上演時間16～17時間の大作を4夜に分けて上演します。役によってはそのうちの3夜に出演しますが、オペラ歌手は毎晩は歌えず中一日置くため、Ring を見るのに1週間要します。Ring は Wagner の聖地 Bayreuth での上演が有名ですが、Berlin や München のような大都市でも時々、4部作をまとめて上演したりします。大都市でもない Kassel で大作の Ring を上演するとは？と興味津々で見に行きました。チケットは完売です。そのついでに Berlin や Frankfurt、Wiesbaden でもオペラを見て、10泊のうちオペラが8回、オペラのない2回は Kassel から日帰りで Goslar や Eisenach に行ったりしました。

ドイツはどこも人人人です。コロナで閑散としていた時期があったとは思えないほどで、誰もマスクはしていません。ドイツは昨年6～8月に1ヶ月9ユーロで電車など公共交通機関が乗り放題のチケットを出して大評判になりましたが、今年は1ヶ月49ユーロの Deutschland-Ticket(通称 D-ticket)が5月から始まっていて、近距離列車と地域の交通機関全てに乗れます。ICE、IC、EC などの長距離列車には乗れません。このチケット、DB(Deutsche Bahn)のサイトから申し込むのですが、サブスクで毎月1日に自動更新され、辞めるには解約の手続きをしないとイケないとか、旅行者にはちょっと使いにくい仕組みです。その代わりに私が使ったのが51ユーロの Quer-durchs-Land-Ticket(ドイツ横断チケット)で、この1枚で大人2人と子供3人までが丸一日使えるというものです。

コロナの間にキャッシュレス化が進んで、現金は殆ど使わないのかと思いきや、コロナ前と同じように現金も使っています。Kassel 市内の市電の切符売場には"Keine Karte"(カードは使えません)と書いてありました。立ち食いのソーセージやアイスクリームも現金で、「PayPay 使えます」なんてどこにも表示されていません。ただ、クレジットカードは使用方法がタッチ式に変わっていました。ところで日曜日の午前中にホテルの部屋でテレビを見ていたら、「家にどんなプラスチック製品があるかな？環境保護のためにプラスチック製品はやめよう」と言って、家にあるプラスチック製品に×(ペケ)マークをつける子供向けの番組をやっていました。

列車のボディには"Deutschlands schnellster Klimaschutz" (ドイツ最速の気候対策実践) とか "Unterwegs mit Ökostrom" (エコな電気でお出掛け) と書かれているし、Goslar の駅前には電気自動車用の、ガソリンスタンドならぬ給電設備があるし、地球温暖化対策に関して、日本に比べて遥かに先を行っているのがとても印象的でした。

☆このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜日までに事務局へ)

ドイツ語談話室

第223回ドイツ語談話室

日時 : 2023年5月20日(土) 14:00~15:30

場所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : 日本とドイツでの結婚式と誕生祝

今回の司会は原田耕作氏が担当し、日本で結婚式は多くのカップルが普通に行っていると思うし、特別の結婚記念日、例えば銀婚式や金婚式を祝う人もいる、と話した。一方で、誕生祝は子供時代を除きあまりやらないようだ。ただ記念の誕生日、例えば喜寿(77歳)や白寿(99歳)などを祝う人はいる。

以下に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

— 今日では、結婚式はしないで、お互いパートナーとして生活するカップルも多い。

— 神前結婚の儀式には多くのしきたりや謂れがあり、八百万の神々のお出ましもある。

— 日本には結婚式から披露宴迄全てをやってくれる専門の式場が多くあり、どの宗教の結婚式でも全て段取りしてくれる便利な所だ。

— 日本では誕生日祝をする事はあまり一般的でない。やったとしても、子供たちの誕生会くらい。

— ドイツでは誕生日祝はとても大切なもので、誰もが誕生祝を主催する。特に Runde Geburtstag と言って、各10年ごとの誕生パーティーは盛大に祝う。親族・友人・会社の同僚などを招待する。中でも、20歳と60歳の誕生日祝いは特別盛大にやる。

— イタリアでも誕生祝はとても大切で、皆が盛大にパーティーをする。ドイツと同じだ。

— 日本で満年齢が実際に導入されたのは1950年からで、それまでは数え年で数えていた。つまり、生誕時1歳でその後は新年1月1日に1歳増えて祝っていた事になる。自分の誕生の日を祝う習慣は新暦になってからで、比較的新しい事である。

— わが家の歴史で約130年前の話だが、新嫁さんは60kmほど離れた村から駕籠に乗ってやって来、家で3日間続けて結婚の祝宴が開かれたそう。当時の結婚は家と家の間で決められ、新郎・新婦は祝宴の当日お互いに初めて会ったと言う。

—日本の旧暦で生誕の時に1歳になるのは、生誕迄10ヵ月以上お母さんの胎内にいたことを考えればあながち不合理でもないかも。

今後のドイツ語談話室の予定

第225回 2023年7月15日(土) 14~16:00 テーマ : 私は持続可能な開発目標(SDGs)に対して何が出来るか

Protokoll der 223. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 20. Mai 2023, 14 bis 15:30 Uhr

Thema: Hochzeits- und Geburtstagsfeiern in Japan und Deutschland

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und sprach davon, dass in Japan Hochzeiten meist in größerem Stil gefeiert werden. Manche Leute feiern auch Hochzeitstage, insbesondere die Silberne oder die Goldene Hochzeit etc.. Geburtstagsfeiern hingegen scheinen, außer bei Kindern, nicht sehr häufig zu sein, abgesehen der Geburtstagsfeiern, die mit einer besonderen Bedeutung belegt sind, wie z.Bsp. „Kiju“ im Alter von 77 und Hakuju im Alter von 99 Jahren.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Heutzutage heiraten viele Paare nicht, sondern leben als Partner zusammen.
- Bei der Shinto-Hochzeitszeremonie gibt es viele Rituale, wie z.Bsp. „Yaorozunokami“.
- In Japan gibt es viele spezialisierte Hochzeitsunternehmen, die alles von der Trauung bis zum Empfang entsprechend der jeweiligen Religion oder Anschauung organisieren können.
- In Deutschland haben Geburtstagsfeiern eine große Bedeutung, besonders an den runden Geburtstagen. Geburtstagsfeiern werden in der Regel selbst organisiert.
- In Italien kann man ebenso erleben, dass Geburtstage groß gefeiert werden.
- Die Zählung des Alters nach Geburtstagen wurde in Japan erst 1950 eingeführt. Bis dahin zählte man das Alter nach Kalenderjahren, wo jeder am 1. Januar ein Jahr älter wird. Daher ist der Brauch, einen Geburtstag zu feiern, noch relativ jung.
- Ein Teilnehmer berichtete von seiner Familiengeschichte, dass vor etwa 130 Jahren die Braut in einer Sänfte aus einem 60km entfernten Dorf getragen wurde. Die Hochzeitsfeierlichkeiten dauerten drei Tage. Damals wurden Ehen nicht persönlich, sondern von den Familien, also von „Haus zu Haus“ beschlossen. Braut und Bräutigam sahen sich am Tag des Festes zum ersten Mal.
- Wenn man mit bedenkt, dass ein Kind schon neun Monate im Mutterleib war, bis es geboren wurde, ist die Altersberechnung folgend dem Jahreswechsel auch nicht so eigenartig.

Nächste Treffen:

Samstag, 15. Juli 2023, 14 bis 16 Uhr, Thema: SDGs - Was kann man tun?

Stammtisch mit Zoom

7月の Stammtisch mit Zoom のお知らせ

7月は休会させていただきます。

Stammtisch

6月の Stammtisch は予定を変更して、事務室移転の引越準備として梱包作業をさせていただきます。ご参加いただいた方々にお礼を申し上げます。

7月の Stammtisch

日 時: 2023年7月17日(土)16:15~18:00

場 所: 神戸日独協会会議室

話 題: 今後の Stammtisch について

ドイツでの Stammtisch のようにお好きな飲み物と茶菓を取りながら、気楽に会員同士のご歓談をお楽しみいただく会です。奮ってご参加ください。

毎回テーマを決めるか、ネイティブの方とどのように交流するか、会場は、飲食は、などなど今後の形式・運営方法について協議をします。ご参加をお待ちしています。

出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

7月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。4月より「月例懇談会」を名称・内容を変更して新たに「企画委員会」として開催しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時: 2023年7月8日(土)15:00~17:00

場 所: 神戸日独協会会議室

話 題: 協会事務室の移転準備と移転後の事務室の形態・運用について。

是非ともご参加いただき、ご意見をお願いします。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室移転情報

神戸リガッタ・アンド・アスレチック・倶楽部所在地



〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

<http://www.krac.org>

移転作業の現状

移転先の改装工事

6月18日より壁の塗替え、床張替え、天井クロス張替えなどの内装工事がやっと始まりました。今月中の完了を予定しています。

引越準備

保存事務書類、保存図書、保存品の梱包作業は6～7割が終了しました。

引越日は未だ確定できていませんが7月10日前後を予定しています。決まり次第、ホームページなどでお知らせします。

移転作業のご協力について

すでに2回移転物の梱包作業を行いました。ご協力をいただいた会員及びそのご家族と受講生の方々にはお礼を申し上げます。

未だ梱包作業もあり、移転後には開梱作業があり、軽量物の移送作業もあります。これらには多くの人の手を必要とします。今後とも多くの方のご協力をお願いします。ご協力いただける方は、是非ともお申し出ください。引越準備日程と準備内容が決まり次第、ご協力をお申し出いただいた方にはお知らせを致します。日程と内容のお合いする日時にご協力をお願いします。

蔵書の処分について

ドイツ語講座とドイツ文化教室及び協会活動にとって不可欠で引き続き保存する書籍の選別はほぼ完了し、ドイツ及び国際交流関係機関・団体への寄贈もほぼ終了しました。会員の希望に応じた譲渡をしていますので、お申し出ください。

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。是非ともお手伝いをお願いします。
次回の印刷と発送は7月27日(木)を予定しています。

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

印刷： 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送： 神戸日独協会にて、12:00～

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
7月8日(土) 15:00～17:00	企画委員会	神戸日独協会会議室	当日参加可
7月15日(土) 14:00～16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
7月15日(土) 16:15～18:00	Stammtisch	神戸日独協会会議室	当日参加可